

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 28 日

福島県知事

内 堀 雅 雄 殿



提出者

住 所 福島県耶麻郡猪苗代町大字山潟字駅前1637番地

氏 名 安 部 建 設 株 式 有 限 公 司

代表取締役 安部 雄哉

電話番号 (0242) 66-3045

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	安部建設株式会社
事業場の所在地	福島県耶麻郡猪苗代町大字山潟字駅前1637番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完成工事高6億1千万円（令和4年度）
③ 従業員数	20名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[建設現場] --> B[がれき類] A --> C[ガラスくず・コンクリ] A --> D[木くず] A --> E[廃プラスチック] A --> F[汚泥] B --> G[中間処理委託(再生利用)] C --> H[中間処理委託(再生利用)] D --> I[中間処理委託(木質チップ)] E --> J[中間処理委託(焼却・破砕等)を経て最終処分委託] F --> K[中間処理委託(脱水)] </pre>

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者	【代表取締役】	⇒ 廃棄物処理の方針、裁定
廃棄物担当役員	【取締役会長】	⇒ 産廃処理に関する社内管理、教育・指導
事務担当	【総務部】	⇒ 諸契約、産廃管理表の諸手続き、整理
産廃排出管理	【工事部】	⇒ 建設現場での、産廃排出の管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		（他種 別紙1のとおり）	
	産業廃棄物の種類	がれき類	がらすくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
	排出量	1425 t	90 t	
	（これまでに実施した取組） [がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず] 発注者と協議のうえ、現場での工程管理により、発生量を抑制する			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	がらすくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
	排出量	700 t	50 t	
	（今後実施する予定の取組） [がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず] 従来通りの取り組みを継続し、工程管理を徹底する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） [がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず] アスファルト殻とコンクリート殻に分別して再生利用業者へ処分委託する。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） [がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず] 現状の取組を続行する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がらすくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がらすくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がらすくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がらすくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 4年度）実績】			
産業廃棄物の種類	がれき類	がらすくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
産業廃棄物の種類	がれき類	がらすくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 4年度）実績】			
産業廃棄物の種類	がれき類	がらすくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
①現状	全処理委託量	1425 t	90 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1425 t	90 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 適正処理業者へ委託。			

		【目標】	
産業廃棄物の種類		がれき類	がらすくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
②計画	全処理委託量	700 t	50 t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量	700 t	50 t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(今後実施する予定の取組) 適正処理業者への委託を徹底。		
※事務処理欄			

別紙 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	排 出 量	2224 t	14 t
	（これまでに実施した取組） 【木くず】 木質チップへ再生利用する処理業者へ委託している。 【廃プラ】 分別解体し、発生量を抑制している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	排 出 量	200 t	5 t
	（今後実施する予定の取組） 【木くず】 従来の取り組みどおり。及び工程管理の徹底。 【廃プラ】 従来の取り組みどおり。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 【廃プラ】 分別解体し、発生量を抑制している。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 【廃プラ】 従来の取り組みどおり。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	全処理委託量	2224 t	14 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	2 t
	再生利用業者への処理委託量	2224 t	12 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 適正処理業者へ委託。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	全処理委託量	200 t	5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	5 t
	再生利用業者への処理委託量	200 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 適正処理業者への委託を徹底。		
※事務処理欄			

別紙1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	26 t	t
	（これまでに実施した取組） 【汚泥】 適正処理業者へ委託している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	30 t	t
	（今後実施する予定の取組） 【汚泥】 従来に取り組みどおり。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 【汚泥】 分別し、発生量を抑制している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 【汚泥】 従来に取り組みどおり。

（第3面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	26 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量	26 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(これまでに実施した取組) 適正処理業者へ委託。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	30 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量	30 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(今後実施する予定の取組) 適正処理業者への委託を徹底。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じた事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

じ
と。
中
間
量
行
収
あ
へ
と
の
入